

## 各機関の取組状況について

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

平成30年3月現在

項目			市町村					
事項	内容	目標時期	北陸地整	気象台	長野県	対象市町村数	取組市町村数	取組率
1. ハード対策の主な取組								
■洪水を河川内で安全に流すための対策								
①	・堤防整備 ・河道掘削 ・漏水対策	引き続き実施	○					
②	・既設ダムを有効活用した洪水調節機能確保	引き続き検討	○					
■危機管理型ハード対策								
③	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	H28年度から順次整備	○					
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備								
④	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	H28年度から検討	○					
⑤	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	H28年度から順次整備	○	○				
2. ソフト対策の主な取組								
① 千曲川・犀川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取り組み								
■情報伝達、避難計画等に関する取組								
⑥	①リアルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信など防災情報の充実	引き続き実施	○		○	17	17	100%
⑦	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と	順次実施	○	○	○	17	(1) 12	71%
⑧	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	順次実施	○	○	○	4	(2) 1	25%
⑨	④想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	H28年度から順次実施	○		○			
⑩	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	H28年度から順次実施	○		○	14	(6) 5	36%
⑪	⑥参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	H28年度から検討	○	○	○	16	(6) 0	0%
⑫	⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	H28年度から順次実施	○			16	(5) 8	50%
⑬	⑧水位予測の検討及び精度の向上	H28年度から検討	○		○			
⑭	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	H29年度から実施		○				
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組								
⑮	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所共同点検の実施	順次実施	○	○		17	(2) 12	71%
⑯	②小中学校等における水防災教育の実施	引き続き実施	○	○	○	17	(5) 8	47%
⑰	③出前講座等を活用し、水災害等に関する説明会を開催	H28年度から実施	○	○		8	(1) 6	75%
⑱	④まるごとまちごとハザードマップを整備	順次実施	○		○	12	(5) 1	8%
⑲	⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	○	○	○	17	(2) 11	65%
⑳	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	順次実施			○	17	16	94%
㉑	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	H28年度から検討				17	(11) 2	12%

・( )内は検計中。  
 ・実数は実施済みの市町村数。  
 ・取組率は実施済みの市町村数。

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

平成30年3月現在

項目			市町村					
事項	内容	目標時期	北陸地整	気象台	長野県	対象市町村数	取組市町村数	取組率
2. ソフト対策								
② 避難時間確保のための水防活動の取り組み								
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組								
22	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	引き続き実施	○	○	○	17	(3) 12	71%
23	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡回	引き続き実施	○	○	○	16	(1) 11	69%
24	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	引き続き実施	○		○	15	(2) 9	60%
25	④水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	引き続き実施			○	17	(1) 15	88%
26	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	引き続き実施	○		○	16	(2) 8	50%
27	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	○		○	8	(5) 2	25%
28	⑦防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	引き続き整備				4	4	100%
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組								
29	①要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	H28年度から順次実施	○			12	(9) 2	17%
30	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	H28年度から実施	○		○			
2. ソフト対策								
③ 一刻も早く社会経済活動を回復させるための排水活動の取り組み								
■救援・救助活動の効率化に関する取組								
31	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	○			14	(12) 1	7%
■排水計画案の作成及び排水訓練の実施								
32	①大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	引き続き実施	○		○	15	(11) 0	0%
33	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	引き続き実施	○		○	17	(4) 11	65%
34	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	○		○	1	1	100%

・( )内は検討中。  
 ・実数は実施済みの市町村数。  
 ・取組率は実施済みの市町村数。

項目	課題の対応	目標時期	北陸地方整備局			長野地方気象台			長野県			長野市			松本市		
			具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定
<b>1. ハード対策の主な取組</b>																	
<b>■洪水を河川内で安全に流すための対策</b>																	
①	堤防整備 ・河堤掘削 ・瀬水対策 ・取手ダムを有効活用した洪水調節機能確保	P	引き続き実施	堤防整備を実施 ・瀬水対策を実施 ・河堤掘削を実施	堤防整備を実施 ・瀬水対策を実施 ・河堤掘削を実施												
②		P	引き続き検討	ダムの有効活用検討	ダムの有効活用検討												
<b>■危機管理型ハード対策</b>																	
③	堤防天端の保護 ・堤防表法尻の補強	P	H28年度から順次整備	堤防天端の保護を実施 ・堤防表法尻の補強を実施	堤防天端の保護を実施 ・堤防表法尻の補強を実施												
<b>■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備</b>																	
④	① 新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	P	H28年度から検討	対空標示(ヘリサイン)の設置	新技術を活用した水防資機材の検討												
⑤	② 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水機等の設置	P	H28年度から順次整備	簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置			水位計、量水機、簡易水位計の設置	今年度は量水機を4箇所更新中	引き続き実施(H29年度より簡易水位計設置計画作成及び設置を予定)							
<b>2. ソフト対策の主な取組①千曲川・犀川の大規模水害に関する特徴を踏まえた避難行動の取組み</b>																	
<b>■情報伝達、避難計画等に関する取組</b>																	
⑥	①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	A.H.J	引き続き実施	緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ配信の実施(H29.5予定)	緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ配信の実施(H29.5予定)			長野県河川防衛情報システムについて、より住民目線のシステムにするべくリニューアル		引き続き実施予定	総合防災情報システムにより、防災メール、ポータルサイト、Twitter、FAXなどで情報発信を実施【済】	長野市総合防災情報システムにより、登録制防災メール、ツイッター、BizFAXにより水位、気象情報、避難に関する情報を配信 ・「やま」が提供するスマホアプリ「防災速報」への配信を開始	引き続き実施	松本安心ネットへの登録、市ホームページへの情報掲載【済】			
⑦	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C.O	順次実施	沿線自治体のタイムライン整備(H29.5迄完成予定)	沿線自治体のタイムライン整備(H29.5迄完成予定)	自治体訓練への参加や支援【平成28年度～】 ・タイムライン作成への助言【平成28年度～】		自治体訓練への参加や支援【継続】 ・タイムライン作成への助言【継続】		順次整備	防災行政無線のデジタル化についての調査・実施計画等、平成34年11月までの整備完了に向けて検討中【H28年度～H34年11月】	既存の同報系防災行政無線の保守・点検を実施 ・平成34年度の整備完了に向けて防災行政無線デジタル化の更新作業を実施	引き続き実施	防災行政無線の普及は済んでいるものの、梓川地区・波田地区ともに合併前に整備した設備(施設)のため、デジタル化へ更新予定(H30年度自前)	梓川地区・波田地区デジタル化へ更新作業	梓川地区・波田地区デジタル化へ更新作業	
⑧	③簡易水位計や量水機等の設置	C	順次実施	沿線自治体の洪水タイムラインの作成支援	左記を引き続き実施	広域的な連携に資するタイムライン作成【～H30年度】		広域的な連携に資するタイムライン作成支援【～H30年度】		順次整備	千曲川・犀川流域を対象としたタイムラインの整備済み、検証及び改善は平成28年度以降実施予定	平成28年3月に策定された長野市洪水タイムラインの運用を開始	長野市洪水タイムラインを運用し、必要に応じて見直しを実施。	広域的な連携に資するタイムラインの作成を検討	タイムラインの作成を検討	引き続きタイムラインの作成を検討する。	
<b>■情報伝達、避難計画等に関する取組</b>																	
⑨	④想定最大規模も含めた堤防別浸水想定区域図、家屋倒壊等危険想定区域図の公表(浸水ナビ等による公表)	A.F	H28年度から順次実施	浸水想定区域図の公表(済)	浸水想定区域図の公表(済)			県管理河川内、洪水予報河川等34河川について平成28年度から順次作成中	長野市内の4河川(犀川・花川・犀川・島川)について作成中	引き続き実施予定							
⑩	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	A.E.F	H28年度から順次実施	浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表(済)	浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表(済)			県管理河川内、洪水予報河川等34河川について平成28年度から順次作成中	同上	同上	新たなハザードマップの検討に同時並行で行う。	最大想定規模降雨に伴う浸水想定区域図の公表に、避難先、避難経路等について、広域避難も含めて検討	新たなハザードマップの作成	ハザードマップの検討に同時並行で行う。	災害種別ごとの避難場所の指定は実施済み【済】	ハザードマップの検討に同時並行で行う。	
⑪	⑥参加型町村による広域避難計画の策定及び支援	E.G	H28年度から検討	避難計画の参考となる情報の提供	避難計画の参考となる情報の提供	広域避難計画に関する支援【H28年度から実施】		広域避難計画に関する支援【継続】		引き続き実施	長野地域連携中核都市(長野ブロック)で、広域避難場所の指定を検討【H28年度～】	長野地域連携中核都市(長野ブロック)で、備蓄状況の共有など、広域避難計画に向けて検討	引き続き検討	隣接市町村における避難場所の指定は実施しない(河川を跨ぐ避難になり避難経路が危険であるため)	隣接市町村における避難場所の指定は実施しない(河川を跨ぐ避難になり避難経路が危険であるため)	隣接市町村における避難場所の指定は実施しない(河川を跨ぐ避難になり避難経路が危険であるため)	
⑫	⑦広域的な避難計画等を反映した新たなハザードマップの策定・周知	D.E	H28年度から順次実施	ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進						想定最大規模降雨に伴う浸水想定区域図の公表に、避難先、避難経路等については、今後更新、周知を実施予定	想定最大規模降雨に伴う浸水想定区域図の公表に、避難先、避難経路等については、今後更新、周知を実施予定	引き続き検討	洪水浸水想定区域図の更新に伴い、ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知を実施	更新したハザードマップを全戸配布【済】	洪水浸水想定区域図の更新に伴い、ハザードマップの見直しを実施 出前講座等での周知を実施	
⑬	⑧水位予測の検討及び精度の向上	B.J	H28年度から検討	洪水予測(水位予測)精度向上の検討	洪水予測(水位予測)精度向上の検討			県内の洪水予報河川(千曲川・花川・諏訪川・善良井川)において実施中		実施中							
⑭	⑨気象情報発信時の危険度の色分けや「警戒線の現象」等の改善	C.H	H29年度から実施			警戒等における危険度の色分け表示 「警戒線の現象」になる可能性の提供 ・メッシュ情報の充実化 ・大雨警報(浸水害)、大雨警報(浸水害)、大雨警報等の改善、危険度分析(メッシュ情報)の提供開始【H29年7月実施】 ・危険度分布の精度向上【H29年度から実施】		「危険度を色分けした時系列」警報の提供 「警戒線の現象」になる可能性の提供 ・大雨警報(浸水害)、大雨警報(浸水害)、大雨警報等の改善、危険度分析(メッシュ情報)の提供開始【H29年7月実施】 ・危険度分布の精度向上【H29年度から実施】									
<b>■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組</b>																	
⑮	①自治体や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所等の共同点検の実施	K	順次実施	重要水防施設等との共同点検を実施	重要水防施設等との共同点検を実施	共同点検に参加している【平成28年～】		共同点検に参加している【継続】			河川管理者と自治体や地域住民が重要水防施設等との共同点検を実施【済】	河川管理者、水防団、地域住民等が実施した、出水期前の重要水防施設等共同点検に参加	引き続き参加	河川管理者と水防団等が重要水防施設等との共同点検の実施を検討する【済】	平成28年5月10日、11日に実施【済】	出水期前に実施予定	
⑯	②小中学校等における水防教育の実施	D	引き続き実施	長野市内中学生体験学習等への参加による水防教育を実施	要望に応じて体験学習等への参加による水防教育を実施	教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する		教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する【継続】		引き続き実施	地区、各種団体等から、長野市防災対策本部の事前講座を実施【済】	市内小中学校等から、長野市防災対策本部の事前講座を実施【済】	引き続き実施	出前講座の継続した開催【継続】	出前講座の継続した開催【継続】	出前講座の開催を継続予定	
⑰	③出前講座等を活用し、水災害等に関する説明会を開催	D	H28年度から実施	上田市の要請により水災害に関する説明会を実施	要望に応じて水災害に関する説明会を実施	報道機関を対象に防災気象情報の活用に関する説明会を実施【H28年度から実施】 ・県、自治体職員を対象に、長野県と共同で防災気象情報に関する説明会を実施する予定【H29年度から実施】		報道機関や自治体職員を対象に防災気象情報の活用に関する説明会を実施【継続】 ・県、自治体職員を対象に、長野県と共同で防災気象情報に関する説明会を実施する予定【継続】		引き続き実施	出前講座を実施している	地区、各種団体等から、長野市防災対策本部の事前講座を実施【済】	引き続き実施	消防団や自主防災組織等を対象にした実施については今後検討する。	消防団や自主防災組織等を対象にした実施については今後検討する。	消防団や自主防災組織等を対象にした実施については今後検討する。	
⑱	④まるごとまちごとハザードマップを整備	D	順次実施	長野市長沼地区のまるごとまちごとハザードマップへの情報提供及び整備支援	まるごとまちごとハザードマップへの情報提供及び整備支援			市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供【引き続き実施】		順次実施	同左			まるごとまちごとハザードマップの整備を検討する。	まるごとまちごとハザードマップの整備を検討する。	まるごとまちごとハザードマップの整備を検討する。	
⑲	⑤効果的な「水防意識醸成社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布	D.E.F.H	順次実施	SNS(フェイスブック)を活用した水防に関する広報	SNS(フェイスブック)を活用した水防に関する広報	長野県が主催する研修会等に参加、防災気象情報利活用の啓発に努める【継続】		長野県が主催する研修会等に参加、防災気象情報利活用の啓発に努める【継続】		出前講座で実施中	自主防災組織へ「自主防災活動の手引き」を配布し、必要に応じて防災マップ作成について説明、及びマップ作成の基となる白地図を無償提供	自主防災組織へ「自主防災活動の手引き」を配布し、必要に応じて防災マップ作成について説明、及びマップ作成の基となる白地図を無償提供	引き続き実施	効果的な「水防意識醸成社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布を検討する。	効果的な「水防意識醸成社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布を検討する。	効果的な「水防意識醸成社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布を検討する。	
⑳	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力向上を図るための自主防災組織の充実	I	順次実施							危機管理部で実施中	危機管理部で順次実施	同左		自主防災組織の活動支援補助金制度による活動支援【継続】	自主防災組織の活動支援補助金制度による活動支援【継続】	自主防災組織の活動支援補助金制度による活動支援【継続】	
㉑	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	I	H28年度から検討								新たな洪水ハザードマップ作成後に自主防災組織へ避難計画の作成を依頼する	避難先、避難方法も含め、避難計画について地域での作成支援を検討	引き続き実施	実施		検討	

項目	課題の対応	目標時期	北陸地方整備局			長野地方気象台			長野県			長野市			松本市			
			具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	
2. ソフト対策②避難時間確保のための水防活動の取組み																		
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																		
22	1.水防団等への連絡体制の確立と普及も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	JK	引き続き実施	・洪水対応演習の実施	・洪水対応演習の実施	・情報伝達訓練への支援【引き続き実施】	・洪水対応演習へ参加及び協力	・情報伝達訓練への支援【継続】	・情報伝達訓練の実施【引き続き実施】	引き続き実施	同左	・水防訓練による情報伝達訓練の実施	・長野市水防訓練と併せて情報伝達訓練の実施	・長野市洪水タイムラインの活用も含めた訓練の実施について検討	・河川管理者と市、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加を検討する。	・河川管理者と市、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加を検討する。	・河川管理者と市、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加を検討する。	
23	2.自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同点検の実施	K	引き続き実施	・重要水防箇所の情報提供、共同点検を実施	・重要水防箇所の情報提供、共同点検を実施	・河川事務所が実施している共同点検に参加していく【平成28年度～】	・共同点検に参加【平成29年5月】	・河川事務所が実施している共同点検に参加していく【継続】	・重要水防箇所の情報提供、共同点検【引き続き実施】	・重要水防箇所の情報提供、共同点検を順次実施	同左	・毎年、出水期前に、河川管理者、水防団等の関係機関と重要水防箇所合同点検を実施している。	・河川管理者、水防団と地域住民等が重要水防箇所合同点検を実施	引き続き参加	・重要水防箇所の合同点検に参加する。	・平成29年5月10日、11日に参加【済】	・重要水防箇所の合同点検に参加予定	
24	3.毎年、関係機関が連携した水防訓練等を実施	JK	引き続き実施	・総合水防演習の実施(又は参加)	・総合水防演習の実施(又は参加)				・毎年、関係機関が連携した水防訓練等を実施【引き続き実施】	・毎年、関係機関が連携した水防訓練等を実施	同左	・毎年、出水期前に、河川管理者、水防団、自主防災組織等の関係機関と合同で、水防訓練を実施している。なお、訓練の中で水防技術の伝承も行っている。	・消防局、水防団、市職員、河川管理者、自主防災組織等の関係機関と合同で、平成29年6月3日(土)に水防訓練を実施した。	引き続き実施	・消防団(水防団)訓練にあわせての実施を検討する。	・消防団(水防団)訓練にあわせての実施を検討する。	・消防団(水防団)訓練にあわせての実施を検討する。	
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																		
25	4.水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	JK	引き続き実施									・協賛改善を図るとともに、消防団員の引継ぎや水防訓練の推進、水防活動の推進、その他各種行事での広報活動を通じて、入団促進に積極的に取り組んでいる。	・消防団員花嫁まつり及び消防団協会の登録協力事業所の募集、消防団員(=水防団)の活動環境の整備を図るとともに、入団促進に取り組んだ	引き続き実施	・水防団員や消防団員の募集の強化【継続】	・水防団員や消防団員の募集の強化【継続】	・水防団員や消防団員の募集の強化を継続予定	
26	5.国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	J,K,L	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加				・水防技術講習会に参加【引き続き実施】	・水防技術講習会に参加	同左	・水防訓練の中で消防団員を対象に実施している。	・消防局、水防団、市職員、河川管理者、自主防災組織等の関係機関と合同で、平成29年6月3日(土)に水防訓練を実施した。	引き続き実施	・消防団(水防団)訓練にあわせて実施【継続】	・消防団(水防団)訓練にあわせて実施【継続】	・消防団(水防団)訓練にあわせて実施を継続予定	
27	6.大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	LL	H28年度から検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討				・道路状況も踏まえ設置済み	・設置済み	同左	・平曲川・犀川沿いに2箇所、水防倉庫を設置し、水防資器材を備蓄している。また、毎年、出水期前に、水防資器材の確認・整備を実施している。	・出水期前に、各水防倉庫の備蓄資器材の点検・整備を実施した。水防倉庫の配置計画については、予算的な部分も踏まえて検討し、現状維持とした。	・水防倉庫の点検・整備については引き続き実施。水防倉庫の配置計画については、予算的な部分も踏まえて検討し、現状維持とする。	・物資集積拠点(高内)の検討実施	・物資集積拠点(高内)の設計	・物資集積拠点(高内)の造成工事	
28	7.防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	H,I,J,K	引き続き整備														・非連合新倉長及び各水防団(消防団)に配備【済】	
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																		
29	1.要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	M	H28年度から順次実施	・技術的助言を行う	・技術的助言を行う							・要配慮者利用施設への避難確保計画策定の支援を行う。	・要配慮者利用施設への避難確保計画策定の支援を行う。	引き続き実施	・避難確保計画の作成支援を実施	・避難確保計画の作成支援を実施	・避難確保計画の作成支援を実施予定	
30	2.大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	M	H28年度から実施	・技術的助言を行う	・技術的助言を行う				・技術的助言を行う	・順次実施	同左							
2. ソフト対策③一則も早く(社会経済活動を回復させるための)排水活動の取組み																		
■救済・救助活動の効率化に関する取組																		
31	1.大規模災害時の救済・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	N	H28年度から検討	・広域支援拠点等の検討支援	・広域支援拠点等の検討支援				・危機管理部で検討済み			・本庁舎は、実施済み	・長野市役所本庁舎及び支所を災害時の拠点として通常の点検・整備を実施。大規模災害時は「長野県市町村災害時対応協定」に基づき検討を実施	引き続き実施	・移動系及び関係系無線の操作を庁舎外(市民芸術館2F)に設置(もう1箇所は庁舎1Fに設置)	・庁舎改築にあわせて検討	・庁舎改築にあわせて検討	・庁舎改築にあわせて検討予定
■排水計画の作成及び排水訓練の実施																		
32	1.大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	N	引き続き実施	・排水ポンプ車の最適配置計画の検討	・排水ポンプ車の最適配置計画の検討				・県有排水ポンプ車を県内に3台配置。排水ポンプ車の操作訓練も実施	・排水ポンプ車の操作訓練を引き続き実施	同左	・地区の要望に応じて、予算の範囲内で可搬式ポンプを配備。排水活動訓練については各各地区の判断で実施。【済】	・平成29年度においては、可搬式ポンプ1台を若穂地区に更新配備した。	平成30年度においても、可搬式ポンプ1台を更新配備予定。	千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施予定	
33	2.排水ポンプ車の出動要領の連絡体制等を整備	N	引き続き実施	・水防連絡会にて連絡体制を確認	・水防連絡会にて連絡体制を確認				・連絡体制の整備【引き続き実施】	・引き続き実施	同左	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・出動要領の連絡体制整備については、現在のところ未整備。(今後、各河川上下流部の特性、浸水想定区域等を踏まえ、体制整備の協議を行う。)	引き続き、検討を進める。	・連絡体制の整備を検討を実施	・連絡体制の整備を検討を実施	・連絡体制の整備を検討を実施予定	
34	3.関係機関が連携した排水訓練の実施	N	引き続き実施	・長野市総合防災訓練に参加	・自治体等が実施する防災訓練への参加				・引き続き実施	・引き続き実施	同左	・防災訓練において排水訓練を実施	・平成29年6月に実施した長野市水防訓練において、関係機関参加のもと、ポンプ車操縦・出動等の排水訓練を実施。	引き続き、実施予定				

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目	課題の対応	上田市			須坂市			中野市			大町市			飯山市		
		具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定
<b>1. ハード対策の主な取組</b>																
① ② ③ ④ ⑤	■洪水を河川内で安全に流すための対策	・堤防整備 ・河床掘削 ・瀬水対策 ・堰設などを有効活用した洪水調節機能確保														
	■危機管理型ハード対策	・堤防天端の保護 ・堤防家民の補強														
	④	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備														
	⑤	②向流な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置														
	<b>2. ソフト対策の主な取組①千曲川・犀川の大規模水害</b>															
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	■情報伝達、避難計画等に関する取組	(1)リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	・緊急連絡メール、市メール配信サービス、ホームページやSNSの活用等を実施。【済】	引き続き実施。	・市登録メールの啓発(通年) ・SNSの活用【済み】	引き続き実施。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	・登録メール(中野市)の更なる普及のため、周知・広報を行う。	
	⑥	②避難勧告等の発令に留意した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	・避難勧告等を発令するためのタイムライン策定【H28年度】	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・防災行政無線のデジタル化(～H34年11月末まで)	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・防災行政無線のデジタル化(～H29年度末完了予定)	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	・本年度完了した防災行政無線(同報系)のデジタル化により、希望する聴覚障がい者に対し、「文字情報表示機能付戸別受信機」を無償により貸出し、情報伝達手段の強化を図った。	
	⑦	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	・避難勧告等を発令するためのタイムライン策定【H28年度】	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善
	⑧	④関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	・避難勧告等を発令するためのタイムライン策定【H28年度】	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善	・千曲川河川事務所協力のもと、タイムラインの検証、改善
	⑨	⑤想定最大規模も言及の浸水想定区域図、重要施設等浸水想定区域図の公表(浸水ナビ等による公表)	・浸水想定区域図、重要施設等浸水想定区域図の公表(浸水ナビ等による公表)													
	⑩	⑥追加市町村による広域避難計画の策定及び支援	・広域避難計画に關し、上田圏域の市町村を対象に広域避難に關して検討を開始。	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。	・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をすすめていく。
	⑪	⑦広域的な避難計画等を反映した新たな浸水ハザードマップの策定・周知	・平成28年3月にハザードマップ作成し、市内全戸配布より周知。平成28年5月の浸水想定区域の見直しに伴い、今後ハザードマップの更新・周知を進める。【H28年度～】	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・全戸配付済み。	引き続き、新たな情報伝達手段の整備に向けた検討を行う。	・全戸配付済み。	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】	・浸水想定区域図の更新・周知【H28年度】
	⑫	⑧水位予測の検討及び精度の向上														
⑬	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善															
⑭	⑩気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善															
<b>■平時から住民等への周知・教育・訓練</b>																
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑	⑮	①自治会や地域住民が参加した浸水に対するリスクの高い場所の共同点検の実施	・河川管理者と地域住民、上田圏域で重要水防所等の共同点検を実施。【済】	引き続き、実施。	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	引き続き、実施。	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	・毎年行っている千曲川河川事務所と自治体との重要水防所点検に地域住民も参加して点検する。【29年度～】	
	⑯	②小中学校における水防教育の実施	・出前講座を活用し、小中学生に防災に関する説明を実施。【済】	引き続き、実施。	・出前講座は、実施している小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	引き続き、実施。	・出前講座は、実施している小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	・小中学校との連携を検討。	・小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	・小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	・小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	・小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	・小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	・小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	・小中学校と連携した出前講座は今後の課題。	
	⑰	③出前講座等を活用し、水災害等に関する説明会を開催	・出前講座を活用し、水災害に関する説明会を開催【済】	引き続き、実施。	・防災会議のありに実施している。	引き続き、実施。	・防災会議のありに実施している。	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】	・中野市などいよいよ住民に対し水害等に関する講座を実施した。【年間3回開催した。】
	⑱	④まちごとハザードマップを整備	・まちごとハザードマップの整備を検討【H28年度～】	引き続き、検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	引き続き、検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。	・ハザードマップの見直しについて検討。
	⑲	⑤効果的な「水防意識醸成」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	・自主防災組織リーダー研修会・出前講座を実施し、住民の防災意識を高め、地域の防災力向上を図っている。【済】	引き続き、実施。	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	引き続き、実施。	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】	・立花水防観測所における避難勧告等の判別、自主防災組織の育成、浸水想定区域図の活用等を実施している。【H29年度末完了予定】
	⑳	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力向上を図るための自主防災組織の充実	・自主防災組織リーダー研修会を通じて、組織の育成・強化を図っている。【済】	引き続き、実施。	・自主防災組織の活用	引き続き、実施。	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用	・自主防災組織の活用
	㉑	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成【H28年度～】	引き続き、検討。	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	引き続き、検討。	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・各自治会で設置している自主防災組織作成の避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】

項目	課題の対応	上田市			須坂市			中野市			大町市			飯山市		
		具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定
2. ソフト対策②避難時間確保のための水																
■水防活動の効率化及び水防体制の強化																
22	1. 水防団等への連絡体制の確立と普及も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	タイムラインの活用を含め、情報伝達訓練を実施する。	防災訓練にて、情報伝達訓練を実施。	引き続き、実施。	・情報伝達については、日頃の業務の中で情報伝達に使用するシステムに精通しておく。	・無線通信訓練の実施(毎月)	訓練を継続し、有事の対応に万全を期す	・従来の訓練内容を見直し、情報伝達訓練の実施の検討を行う。	・洪水情報伝達訓練の実施した。	・洪水情報伝達訓練の実施する。	・H27年度に池田町、松川村と合同訓練を実施。・水防に限りは未実施	・毎月7日家庭防災の日に通信訓練の実施	・毎月7日家庭防災の日に通信訓練を実施予定	・今後の検討課題	・防災行政無線を通じ、情報提供を実施している	・防災行政無線を通じ、情報提供を実施している
		JK			・須高三市町村の消防団員による水防訓練を隔年で実施している。	・須高建設事務所を講師に、須高3市町村の消防団員と合同で水防訓練を実施	水防技術の継承	・隣接市村と協議し検討する。								
23	2. 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所への合同点検の実施	・河川管理者と地域住民で重要水防所等の合同点検を実施。【済】	河川管理者、地域住民、上田市で重要水防所等の合同点検を実施。【済】	引き続き、実施。	・国、県、水防団(消防団)による重要水防所の現地調査及び点検【毎年実施】	関係機関との重要水防所の調査及び点検を実施	訓練を継続し、有事の対応に万全を期す	・千曲川河川事務所が主催し、毎年実施している。	・千曲川河川事務所が主催する点検を合同で実施した。	・千曲川河川事務所が主催する点検を合同で実施する。	・重要水防所なし。重要水防所は市HP上で公開	・重要水防所なし。重要水防所は市HP上で公開	・重要水防所なし。重要水防所は市HP上で公開	・重要水防所なし。重要水防所は市HP上で公開	・重要水防所なし。重要水防所は市HP上で公開	・重要水防所なし。重要水防所は市HP上で公開
		K														
24	3. 毎年、関係機関が連携した水防訓練を実施	・県主催で2年に1度開催している建設事務所等の指導により、実施。年1回開催している「上田市防災訓練」の中の1つの訓練として実施している。	県主催で2年に1度開催している建設事務所等の指導により、実施。年1回開催している「上田市防災訓練」の中の1つの訓練として実施している。	引き続き訓練実施予定。	・市総合防災訓練に併せて水防団(消防団)、自主防災組織と合同で実施している	・市防災訓練において実施	継続実施	・毎年、出水期前に、水防訓練を実施している。	・出水期前に、水防訓練及び排水ポンプ取扱い訓練を実施した。	・出水期前に、水防訓練及び排水ポンプ取扱い訓練を実施した。	・毎年5月に消防団総合演習において水防訓練を実施	・5月の消防団総合演習において実施	・5月の消防団総合演習において実施	・毎年出水期前に水防訓練を実施している。	・5月に水防訓練の実施をいかくしていたが、土砂災害発生のため中止	・出水期前に水防訓練を実施する(5月)
		JK														
■水防活動の効率化及び水防体制の強化																
25	4. 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・年間通じて、消防団員(水防員)を募集。【済】	年間通じて、消防団員(水防員)を募集。【済】	引き続き、募集。	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する	・人信促進事業実施 ・消防団サポート店事業 ・消防団協力事業所 ・学生消防団活動認証制度策定	人信促進事業継続・強化	・船運改善、消防団員の割り振り、消防団員力事業所の優遇等、団員募集に積極的に取り組んでいる。	・団員数及び団員数の見直しを検討する。	・H28年度の女性、若者を始めとする消防団員加入促進事業を実施	・消防フェスタの開催。9,000人参加	・消防フェスタの開催。9,000人参加	・消防団員は現状維持だが、自主防災組織などの水防協力団体の強化には取組んでいる。	・消防団員は現状維持だが、自主防災組織などの水防協力団体の強化には取組んでいる。	・消防団員は現状維持だが、自主防災組織などの水防協力団体の強化には取組んでいる。	・消防団員は現状維持だが、自主防災組織などの水防協力団体の強化には取組んでいる。
		JK														
26	5. 国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・県主催で2年に1度開催している建設事務所等の指導により、実施した。	県主催で2年に1度開催している建設事務所等の指導により、実施した。		・須高消防協会主催による水防訓練で建設事務所職員を講師にしている。	建設事務所を講師に、須高消防協会での訓練実施		・消防団員や関係機関が参加する水防訓練を毎年実施している。			・毎年5月に消防団総合演習において実施	・5月の消防団総合演習において実施	・5月の消防団総合演習において実施	・毎年水防訓練時に水防技術の訓練を行っている。	・水防訓練中止のため未実施	・毎年水防訓練時に水防技術の訓練を行う(5月)
		J,K,L														
27	6. 大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	・老朽化している水防倉庫の建て替えや効果的な場所への移設設置を検討する。【H29年度～】	老朽化している水防倉庫の建て替えや効果的な場所への移設設置を検討する。【H29年度～】	引き続き、検討。	・毎年老朽化する水防倉庫を改築	・本願水防倉庫の改築		・地域の事情に応じ、水防倉庫の設置場所を検討する。	・各地区配備資器材の適正な維持管理を実施した。	・消防団間及び各地区配備資器材の適正な維持管理を実施する。	・消防倉庫は統合、犀川沿川には未整備		・設置済み(河川事務所、飯山市)	・設置済み(河川事務所、飯山市)	・設置済み(河川事務所、飯山市)	・設置済み(河川事務所、飯山市)
		I,L														
28	7. 防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備															
		H,I,J,K														
■要配慮者施設や大規模工場等の自然水防の確保																
29	1. 要配慮者施設等における避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	・要配慮者施設等における避難確保の計画の作成に向けた支援を実施。【H28年度～】	要配慮者施設等における避難確保の計画の作成に向けた支援を実施。【H28年度～】	引き続き、支援を実施。				・音声告知放送設備の導入を行い、情報伝達を行っている。	・避難確保計画の作成のための説明会を実施した。	・避難確保計画の作成のための説明会を実施した。	・防災行政無線戸別受信機整備	・防災行政無線戸別受信機整備	・防災行政無線戸別受信機整備	・防災情報のメール配信システム整備【H28】	・防災情報のメール配信システム整備【H28】	・防災情報のメール配信システムの運用を継続する
		M														
30	2. 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動															
		M														
2. ソフト対策③一刻も早く社会経済活動を回復させる																
■救援・救助活動の効率化に関する取組																
31	1. 大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	・市役所本庁舎3階に自家発電設備を設置するなど、水害時の機能確保できるように対策している。【H28年度～】	市役所本庁舎3階に自家発電設備を設置するなど、水害時の機能確保できるように対策している。【H28年度～】	引き続き検討。				・長野地域連携中核都市圏の市町村で今後検討をしてみたい。	・新庁舎の建設に対応【H30年度】	・配置計画の検討に先立ち、市防災計画の見直しを実施した。	・建設業組合と協定済 ・市内資機材取扱い店と協定済	・建設業組合と協定済 ・市内資機材取扱い店と協定済	・建設業組合と協定済 ・市内資機材取扱い店と協定済	・市庁舎が被災した場合の対応については今後の検討課題	・市庁舎が被災した場合の対応については今後の検討課題	・市庁舎が被災した場合の対応については今後の検討課題
		N														
32	2. 排水計画の作成及び排水訓練の実施	・6月～10月にポンプ1基(リース)を設置。地元自治会で1回、操作している。	6月～10月にポンプ1基(リース)を設置。地元自治会で1回、操作している。	引き続き実施。	・排水機場による支川排水を実施	10月22日～24日全排水機場運転	・排水機場による支川排水を実施予定	・排水ポンプの配備計画に基づく配備を本年度完了予定。排水訓練は、毎年実施している。	・排水ポンプの適正な維持管理を実施した。	・排水ポンプの適正な維持管理を実施する。	・搬込河道のため未整備			・毎年1回の国、県とのポンプ排水訓練の実施	・毎年1回の国、県とのポンプ排水訓練の実施	・毎年1回の国、県とのポンプ排水訓練の実施
		N														
33	3. 関係機関が連携した排水実地訓練の実施	・連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	引き続き実施。	・連絡体制の整備【引き続き実施】	千曲川河川事務所に出発要請	・必要に応じ千曲川河川事務所に出発要請	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】	・連絡体制の整備【引き続き実施】
		N														
34	4. 関係機関が連携した排水実地訓練の実施															
		N														

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目	課題の対応	千曲市			安曇野市			生坂村			池田町			松川村			
		具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	
<b>1. ハード対策の主な取組</b>																	
① ② ③ ④ ⑤	■洪水を河川内で安全に流すための対策	・堤防整備 ・河床掘削 ・瀬水対策 ・取組システムを有効活用した洪水調節機能確保															
	■危機管理型ハード対策	・堤防天端の保護 ・堤防家民の補強															
	■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備															
	②向流な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置																
<b>2. ソフト対策の主な取組①千曲川・犀川の大規模水害</b>																	
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	■情報伝達、避難計画等に関する取組	(1)リアルタイムの情報提供やブロードキャスト型情報の発信など防災情報の充実	・メール配信サービス、緊急連絡メール、ケーブテレビとの協定、災害用ツイッターを活用(済)	・災害時にメール配信サービス、緊急連絡メールの使用	・災害時にメール配信サービス、緊急連絡メールの使用	緊急連絡メール、事前登録制の市メール配信サービスへの登録、SNSの活用、災害発生に基づくコミュニティ等、ケーブテレビの活用等	コミュニティ等放送と連携した緊急放送の発着を毎月から運用を開始した。あわせて緊急告知機能付防災ラジオの購入経費への一部補助を実施している。	緊急告知機能付防災ラジオの購入経費への一部補助を実施している。	・防災行政無線、緊急連絡メールを活用	・防災行政無線、緊急連絡メールを活用	・防災行政無線、緊急連絡メールを活用	・防災行政無線のデジタル化(済)	登録制メールの利用者増加を目的に、広報誌への掲載等を実施していく	・ケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等(済)	防災気象情報の活用	防災気象情報の活用	
	②避難勧告等の発令に着目した災害行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの策定。【H28年度～】	作成済	作成済	避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインを作成	避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの策定と改善	同左	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの策定と改善【活用訓練等の実施】(H28年度～)	タイムラインの検証	タイムラインの策定	タイムラインの策定	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの策定と改善【活用訓練等の実施】(H28年度～)	大北圏域防災協議会が設立された。	左記協議会でのタイムライン作成に併せ、前のタイムラインも整理したい【32年度まで】	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの策定と改善【活用訓練等の実施】(H28年度～)	タイムラインを改善し、防災訓練にて実施	
	③関係者が一線となったタイムラインの想定最大規模降例における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援																
	④想定最大規模を越えた浸水想定区域(浸水想定区域図、常備危険等指定区域の公表(浸水ナビ等による公表))																
	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	・ハザードマップの検討(済)	実施なし	31年度作成に向けて検討	区域の特定と避難計画作成への働きかけ	避難計画作成の支援	同左	・ハザードマップの検討(済)	担当課で検討中	作成へ向け検討	今後、検討予定	未検討	検討したい	今後、検討予定	なし	洪水ハザードマップにより浸水区域の浸水避難所への移動方法の確認	
	⑥市町村による広域避難計画の策定及び支援	・隣接市町村と広域避難計画の策定(済)	実施なし	河川事務所において調整中	広域避難の実現性について検討	未実施		・広域避難について検討	今後検討予定	今後検討予定	広域避難計画(～H32年度)	未策定	広域避難計画(～H32年度)	広域避難計画(～H32年度)	なし	高、関係市町村(協議会)と策定の検討	
	⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	・洪水浸水想定区域の策定(済)	実施なし	・河川事務所において31年度作成に向けて検討	洪水等ハザードマップの策定(済)	ホームページ等公開中の更新	同左	・洪水浸水想定区域の策定(済)	ハザードマップの更新・周知の検討	ハザードマップの更新・周知の実施予定	・洪水浸水想定区域の策定(済)	ハザードマップの策定・周知	ハザードマップの策定・周知	ハザードマップの策定・周知	ハザードマップの策定・周知	ハザードマップの策定・周知	必要があれば策定(策定)準備
	⑧水位予測の検討及び精度の向上																
⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善																	
<b>■平時から住民等への周知・教育・訓練</b>																	
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳ ㉑	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い場所の共同点検の実施	・河川事務所と消防団 ・河川事務所と消防団 ・河川事務所と消防団	・河川事務所と消防団 ・河川事務所と消防団 ・河川事務所と消防団	河川事務所と消防団 河川事務所と消防団 河川事務所と消防団	実施	同左	・河川事務所と消防団 河川事務所と消防団 河川事務所と消防団	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	重要水防所等の合同点検を実施	
	②小中学校等における水防教育の実施	・出前講座	実施なし	学校側からの要望や機会があれば実施	出前講座の継続した開催	防災教育に取組む学校への支援(1校)	同左	・出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	出前講座の実施を検討	
	③出前講座等を活用し、水災害等に関する説明会を開催																
	④まちごとハザードマップを整備	・ハザードマップの見直し(済)	実施なし	地域要望があれば実施	まちごとハザードマップの策定(済)	まちごとハザードマップの策定(済)	同左	・ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)	ハザードマップの更新(済)
	⑤効果的な「水防意識社会」の構築に役立つ広報や資料を作成・配布	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座	希望団体への出前講座
	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	・自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)	自主防災組織の活動支援(継続)
	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	実施なし	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成(済)



項目	課題の対応	千曲市			安曇野市			生坂村			池田町			松川村		
		具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定
2. ソフト対策②避難時間確保のための水																
■水防活動の効率化及び水防体制の強化																
22	1)水防活動等への連絡体制の確立と普及も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	・タイムラインの運用に合わせた訓練に含める。	実施なし	・総合防災訓練においてタイムラインを活用した情報伝達訓練を実施	河川管理課と市、消防団の連絡体制を確認し、河川管理課者が行う情報伝達訓練に参加する。タイムラインの活用も今後検討	訓練実施に向けて調整中	・情報伝達訓練の実施について検討	防災訓練で情報伝達訓練を実施	情報伝達訓練等の実施	情報伝達訓練の実施【平成29年度～】	未実施	検討したい	・情報伝達訓練の実施【】	情報伝達訓練実施	情報伝達訓練実施	
23	2)自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所等の合同点検の実施	・重要水防箇所の情報共有・共同点検【済】	河川事務所と消防団で重要水防箇所等の共同点検を実施。	河川事務所と消防団で重要水防箇所等の共同点検を実施。	出水期前に国や消防団等と重要水防箇所の合同点検	実施	・出水期前に国や消防団等と重要水防箇所の合同点検を実施	重要水防箇所等の合同点検を実施	出水期前に国や消防団等と重要水防箇所の合同点検の実施	・重要水防箇所の情報提供、共同点検【H29年度～】	未実施	検討したい	・重要水防箇所の情報提供、共同点検【H29年度～】	なし	現地の点検確認	
24	3)毎年、関係機関が連携した水防訓練を実施	出水期前に水防団(消防団)の水防訓練を実施。	出水期前に水防団(消防団)の水防訓練を実施。	出水期前に水防団(消防団)の水防訓練を実施。	毎年、消防団員の教育訓練の項目として、消防団員を講師に水防訓練(築基、改良積み土壌工法等)を実施【H29年4月23日実施済】	消防団員の教育訓練の項目として、消防団員を講師に水防訓練(築基、改良積み土壌工法等)を実施【H29年4月23日実施済】	定期的な実施	定期的な実施を検討	水防訓練等の定期的な実施を検討	実施する。	未実施	検討したい	消防団では定期的に実施している。	なし	なし	
■水防活動の効率化及び水防体制の強化																
25	4)水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・消防団員の募集の強化 サポートショップ等の活用など	消防団員募集方法の整備	・消防団員の募集の強化 サポートショップ等の活用など	消防団員の入団期日について通例(4月1日)に加えて10月1日入団制を設ける。消防団員確保のための委員会を設置	委員会を随時開催	・消防団員の募集の強化	消防団員(水防団員)の募集強化	消防団員(水防団員)の募集強化	・水防団員や消防団員の募集の強化【H28～】	継続実施	検討したい	・消防団員の募集の強化【H28.9～】	なし	協力団体等の周知	
26	5)国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防技術基礎講座への参加【H27年度～】	参加なし	・千曲川河川事務所管内で実施されれば参加	毎年、県職員等を講師に招いて消防団員を対象に実施	団員が参加する水防訓練を実施	・消防団員による水防訓練の実施	消防団員による水防訓練の実施を検討	消防団員による水防訓練の実施の検討	・水防技術の伝承会の実施【H29年度～】	未実施	検討したい	・防災訓練時に検討する。	なし	消防団と連携した訓練を検討	
27	6)大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施				国・県・市のそれぞれにより整備済み					・大規模災害時に災害協定業者と連携した復旧活動を行うため、個々の防災拠点等の適切な配置の検討【H28年度～】	未実施	検討したい				
28	7)防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	・携帯型デジタルMCA無線機42台。【済】	整備済	整備済	移動型デジタル防災無線をすべての行政区域に配備	月1回の無線交信試験を地域ごと実施した	同左									
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の推進																
29	1)要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施				要配慮者利用施設の代表との緊急連絡体制の確立	整備済み。随時更新中	同左	・要配慮者施設において防災無線や戸別受信機を設置	要配慮者施設において防災無線や戸別受信機を設置	要配慮者施設において防災無線や戸別受信機を必要に応じて追加設置	未回答	未回答		各施設へ協定の確認	福祉部と連携し、計画策定に向けた支援	
30	2)大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動															
2. ソフト対策③一刻も早く社会経済活動を回復させる																
■救援・救助活動の効率化に関する取組																
31	1)大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	・防災拠点として安心と安全を確保した新庁舎の建設【H31年度開庁】	・防災拠点として安心と安全を確保した新庁舎の建設【H31年度開庁】	・防災拠点として安心と安全を確保した新庁舎の建設【H31年度開庁】	安曇野市地域防災計画に防災拠点整備計画を追加		同左	・広域的に資材を運用するための協議、検討	広域的に資材を運用するための検討	引き続き検討	検討したい	・広域的に資材を運用するための協定等の検討【H29年度～】	生活協同組合コープながのとの協定予定、生活物資の供給協定予定	広域的に運用するための協定を検討		
		・建設業協会、資機材リース会社との応援協定	建設業協会、資機材リース会社との応援協定	建設業協会、資機材リース会社との応援協定	今後、隣接市村と協議し、資機材リース業者との協定締結を検討	協定締結を検討	同左	・道の駅において拠点等配置計画を検討中	・道の駅において拠点等配置計画を検討	引き続き検討						
■排水計画の作成及び排水訓練の実施																
32	1)大規模災害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	・出水期における可搬式ポンプのレンタル契約・設置(市内箇所、15台)パッケージポンプ所有(3台)	・出水期における可搬式ポンプのレンタル契約・設置(市内箇所、15台)パッケージポンプ所有(3台)	・地域防災計画及び水防計画で対応	消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。複数の可搬ポンプにより中継排水訓練を毎年実施	同左	同左	・消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。	消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。	消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。	実施する。	未実施	検討したい	なし	大町圏域大規模氾濫震災協議会等で検討	
33	2)排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備	連絡体制の整備	連絡体制の整備	同左	同左	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備	連絡体制の整備【引き続き実施】	未実施	検討したい	なし	なし	
34	3)関係機関が連携した排水実地訓練の実施															

項目	課題の対応	坂城町			小布施町			木島平村			野沢温泉村			栄村				
		具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定		
1. ハード対策の主な取組																		
■洪水を河川内で安全に流すための対策																		
①	堤防整備 ・河堤岸削 ・瀬水対策 ・取捨弁を有効活用した洪水調節機能確保	P																
②		P																
■危機管理型ハード対策																		
③	・堤防天端の保護 ・堤防護岸の補修	P																
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等																		
④	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	P																
⑤	②内河川水防活動や水防活動を支援するための、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	P																
2. ソフト対策の主な取組①千曲川・犀川の大規模水害																		
■情報伝達、避難計画等に関する取組																		
⑥	①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	A,H,J	実施済 ・上田ケーブルビジョンのしずく放送活用【済】 ・さかしまちメール(登録メール)による防災情報の配信【済】 ・デジタル防災行政無線(同報系)の普及【H29年度予定、H30年4月開局予定】 ・H29.6誘導工事契約締結 H30.1試験運用開始予定	引き継ぎ実施 H30.4～運用開始予定 情報発信先は屋外拡声子局・戸別受信機(金戸配布)だけでなく、町HP、SNS、緊急連絡メール、さかしまちメールと自動連携	引き継ぎ実施 H30.7～データの取り込みを開始予定	・防災行政無線の普及(済) ・無線のデジタル化に伴う改修 ・H34年度までに戸別受信機デジタル化(随時)	・屋外スピーカーのデジタル化改修(1月下旬)	・戸別受信機の更新対応(随時)	千曲川・犀川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有	エリアメールの活用を行うとともに、洪水情報プッシュ型配信について住民周知を行う。	引き続きエリアメールの活用を行うとともに、洪水情報プッシュ型配信について住民周知を行う。	・アラート入力による緊急一斉メール配信と村中自動放送ウイジェットの見直し	対策済み	対策済み	・アラートによる緊急一斉メール配信やSNS等の活用	・村防訓練において、消防情報システムを活用した緊急一斉メール配信訓練の実施	・村防訓練において、消防情報システムを活用した緊急一斉メール配信訓練の実施	
⑦	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C,O	作成済み	引き継ぎ必要に応じて見直し	・平成28年度にタイムラインを策定(済)	・タイムラインの検証及び改善	・タイムラインの検証及び改善	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの作成を継続	千曲川千曲事務所の支援を得ながら引き継ぎ運用に向けた検証、暫定版の作成。	避難マニュアルの見直しなどに合わせて、千曲川千曲事務所の支援を得ながら引き継ぎ運用の検証を行う。	避難マニュアルの見直しなどに合わせて、千曲川千曲事務所の支援を得ながら引き継ぎ運用の検証を行う。	・避難勧告等判断シミュレーションの活用	対策済み	対策済み	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの作成【H28年度～】	・定期的な通信訓練を実施	・定期的な通信訓練を実施	
⑧	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	C																
■情報伝達、避難計画等に関する取組																		
⑨	④想定最大規模も言及した浸水想定区域図、避難勧告等発令区域図の公表(浸水ナビ等による公表)	A,F																
⑩	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	A,E,F																
⑪	⑥参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	E,G	未実施	協議・検討を実施	・準備中、関係機関等との連携を継続	・準備中、関係機関等との連携を継続	・準備中、関係機関等との連携を継続	・広域避難計画に關して協議・検討【～H32年度】	近隣市町村の状況により協議検討を行う。	引き続き検討する。	引き続き検討する。	・野沢温泉は千曲川本川の氾濫による影響は無いと想定しているが、近隣自治体から要請があれば対応したい【～H32年度】	・野沢温泉は千曲川本川の氾濫による影響は無いと想定しているが、近隣自治体から要請があれば対応したい【～H32年度】	・野沢温泉は千曲川本川の氾濫による影響は無いと想定しているが、近隣自治体から要請があれば対応したい【～H32年度】	・広域避難計画について協議・検討【～H32年度】	・次年度以降に向けて検討	・次年度以降に向けて検討	
⑫	⑦広域的な避難計画等を反映した新たなハザードマップの策定・周知	D,E	H28年金戸配布済		・洪水浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの改訂・周知【～H29年度】(但し広域でない)様々な想定区域の検討	・町単独でのハザードマップ情報更新を継続 ・広域的な避難計画については、継続検討	・洪水浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新・周知【～H29年度】		避難マニュアルの見直し等に合わせて検討する。	・洪水浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新・周知【～H30年度】		・洪水浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新・周知【～H30年度】			・平成28年度にハザードマップ更新に向けた準備を配付済み。 ・今後の更新・周知について検討。	・次年度のハザードマップ更新に向けた準備	・浸水想定区域の変更によるハザードマップの更新	
⑬	⑧水位予測の検討及び精度の向上	B,J																
⑭	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	C,H																
■平時から住民等への周知・教育・訓練																		
⑮	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での共同点検の実施	K	・河川管理課と自治会の合同点検に消防団団長2名が参加 ・自治会連合会や地域住民の同行を計画している。【H29年度～】	引き継ぎ実施 (更なる参加の呼びかけを図る)	河川管理課と自治会等で共同点検を実施	・河川管理課、自治会、自治会連合会等で共同点検を実施【H29年度から自治会長参加】	・河川管理課、自治会、自治会連合会等で共同点検を実施【H29年度から自治会長参加】	・河川管理課、自治会、自治会連合会等で共同点検を実施【H29年度から自治会長参加】	・河川管理課と自治会や地域住民で重要箇所等の共同点検を実施する。【H28年度～】	未実施	防災訓練行政区域独自訓練の中で実施	ハザードマップを利用した机上説明を実施して、次のステップとして現地点検を早期に実施したい【H29～】	実施なし	順次実施	・避難誘導マニュアルの作成に併せて検討	・地元区長と危険箇所を確認	・地元区長と危険箇所を確認	
⑯	②小中学校における水防教育の実施	D	・出前講座の継続した開催【実施済み】	引き継ぎ実施	・小中学校の各一学年で水防教育について日常的な指導	・小中学校の各一学年で水防教育について日常的な指導	・小中学校の各一学年で水防教育について日常的な指導	・小中学校の各一学年で水防教育について日常的な指導	・出前講座の開催【H28年度～】	開催中	開催に向けて検討する	・防災教育実施に向けて検討したい。	・防災教育実施に向けて検討したい。	・防災教育実施に向けて検討したい。	・教育委員会と連携し、避難訓練等に併せて取り組む	・次年度以降に向けて検討	・新たな洪水ハザードマップの配布	
⑰	③出前講座等を活用し、水災害等に関する説明会を開催	D	要望に応じて順次実施	引き継ぎ実施	・町政懇談会の席上、水害等に関する説明会を実施 ・町政懇談会では、一部地域において建設事務所との連携により、砂災害等に関する説明を実施 ・出前講座を自治会長を対象に実施(避難所開設)	・町政懇談会の席上、水害等に関する説明会を実施 ・町政懇談会では、一部地域において建設事務所との連携により、砂災害等に関する説明を実施 ・出前講座を自治会長を対象に実施(避難所開設)	・町政懇談会の席上、水害等に関する説明会を実施 ・町政懇談会では、一部地域において建設事務所との連携により、砂災害等に関する説明を実施 ・出前講座を自治会長を対象に実施(避難所開設)	・町政懇談会の席上、水害等に関する説明会を実施 ・町政懇談会では、一部地域において建設事務所との連携により、砂災害等に関する説明を実施 ・出前講座を自治会長を対象に実施(避難所開設)	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	
⑱	④まるごとまちごとハザードマップを整備	D	・まるごとまちごとハザードマップの協議・検討【H28年度～】	引き継ぎ協議・検討		・ハザードマップの全戸配布												
⑲	⑤効果的な「水防意識啓発」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	D,E,F,H	・自主防災会の活動内容をアンケート調査し、結果を公表し、防災意識の向上を図った。【H27年度】アンケート集計結果を元に各自主防災会活動に活かしてもらった。	引き継ぎ実施	・総合防災訓練の実施 ・6月4日総合防災訓練を実施(水防資料配布、過去の浸水高表示、確認調査)	・総合防災訓練を継続実施(水防資料配布、実践行動等) ・住民等に対して、ハザードマップ配布を行い意識醸成を図る。	・総合防災訓練を継続実施(水防資料配布、実践行動等) ・住民等に対して、ハザードマップ配布を行い意識醸成を図る。	・総合防災訓練を継続実施(水防資料配布、実践行動等) ・住民等に対して、ハザードマップ配布を行い意識醸成を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実を図る。	
⑳	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力を向上させるための自主防災組織の充実	I	・自主防災組織として、自主防災会主催の訓練への協力を実施	引き継ぎ実施	・自主防災組織の活用、強化【H28～】	・総合防災訓練に際し、自主防災組織で行動訓練を実施 ・小布施町自主防災会連絡協議会の立ち上げ	・総合防災訓練に際し、自主防災組織で行動訓練を実施 ・小布施町自主防災会連絡協議会の立ち上げ	・総合防災訓練に際し、自主防災組織で行動訓練を実施 ・小布施町自主防災会連絡協議会の立ち上げ	・総合防災訓練に際し、自主防災組織で行動訓練を実施 ・小布施町自主防災会連絡協議会の立ち上げ	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	・総合防災訓練の中で、全行政区(自主防災組織)において、各自防訓練を実施する	
㉑	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	I	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	引き継ぎ実施		・準備中	・準備中	・準備中	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	未実施	ハザードマップ更新時に併せて実施できるように図る	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	作成済み	作成済み	・次年度の災害応急マニュアル作成に向けた準備	・災害応急マニュアルの作成		

項目	課題の対応	坂城町			小布施町			木島平村			野沢温泉村			栄村		
		具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定	具体的な取組内容	H29年度の取組状況	H30年度の取組予定
2. ソフト対策②避難時間確保のための水																
■水防活動の効率化及び水防体制の強化																
22	1)水防団等への連絡体制の確立と普及も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	・河川管理者と町、消防団の連絡体制を確立し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。タイムラインの活用も今後検討する。	協議・検討中	引き続き協議・検討	・総合防災訓練で実施	・総合防災訓練に際し、消防団及び職員への情報伝達訓練をメール配信により実施した。	・日常的に連絡体制の整備(伝達手段の更新等)充実を図る ・総合防災訓練を通じて関係団体、関係者との実践的な訓練を継続する	・総合防災訓練の中で実施を検討	・防災訓練、水防訓練の中で実践的な情報伝達訓練を実施	・防災訓練、消防訓練の中で実践的な情報伝達訓練を実施する	・村で実施する防災訓練で土砂災害で実施実績があるため、訓練実施場所を水害想定地区とした場合には、実施したい。	・消防団が水防対策を行うため、防災訓練時に村長一団長一団員への出動伝達訓練の実施	・消防団が水防対策を行うため、防災訓練時に村長一団長一団員への出動伝達訓練の実施	・防災訓練に併せて実施	・防災訓練に併せて実施	・防災訓練に併せて実施
		・今後、隣接市村と協議し検討する	協議・検討中	引き続き協議・検討								・木島平村と水防訓練を隔年で実施	・地訓練と日程が重複し見送り	・実施なしの年度	・広域避難計画に併せて検討する	
23	2)自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所等の合同点検の実施	・重要水防箇所の情報共有・共同点検【済】	点検実施済み	引き続き実施	・国、県、町、消防団による重要水防箇所の現地調査	・国、県、町、消防団による重要水防箇所の現地調査	同左	・重要水防箇所の情報共有	実施に向けて検討	実施に向けて検討する				・各関係者と情報共有及び、共同点検の実施		
24	3)毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	・消防団を対象に、年1回実施済み	実施済み	引き続き実施				・引き続き水防訓練実施	水防訓練を実施	隔年で水防訓練を実施する。H30は未実施。						
■水防活動の効率化及び水防体制の強化																
25	4)水防活動の効率的な水防活動の推進	・福利消防協会事業として、団員募集CMを張り、しなの鉄道ディスプレイ等で放映し、募集を強化【H28年度中】	町成人式や、町民運動会において団員募集活動を実施	引き続き実施	・水防団員や消防団員の募集強化【H28.8~】	・自治会長と連携し消防団員確保の取組を実施した(自宅訪問活動)	・自治会長と連携し消防団員確保の取組を継続実施(自宅訪問活動)	・消防団員の募集強化【H28.9~】	・消防団員の処遇改善を検討する中で、募集等について強化を図る。	引き続き消防団員の処遇改善を検討する中で、募集等について強化を図る。	・より多くの消防団員確保のためH28.4から横断別消防団員制度を導入し177人へ増加	・横断別消防団員の導入により団員数166人→177人へ増加	引き続き団員加入促進をすすめる	・新規団員の加入強化【H28~】	・新規団員の加入強化	・新規団員の加入強化
26	5)国、県、自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防訓練の際に毎年実施済み	実施済み	引き続き実施				・水防訓練の際に実施済み	水防訓練の中で実施済み	隔年で水防訓練を実施する。H30は未実施。	・総務省消防庁から貸与された救助資機材車両による訓練を実施	・総務省消防庁から貸与された救助資機材車両による訓練を実施	・総務省消防庁から貸与された救助資機材車両による訓練を実施			
27	6)大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施				・拠点等配置計画、検討準備	・拠点等配置計画、検討準備								・配置について検討	・配置について検討	・配置について検討
28	7)防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備															
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の強化																
29	1)要配慮者施設等による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	・防災情報のメール配信システム整備	実施済み	引き続き実施		・庁内において準備中	・同左							・防災訓練において情報伝達訓練を実施する【H28】	・施設担当者との意見交換を実施	・施設担当者との意見交換を実施
30	2)大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動															
2. ソフト対策③一刻も早く社会経済活動を回復させる																
■救援・救助活動の効率化に関する取組																
31	1)大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	・建設業協会等と協定済み	実施済み	引き続き実施	・広域的に資材を運用するための協定等の検討【H28年度~】	・消防団と連携して資材を運用するための協定等の検討【H28年度~】	・消防団と連携して資材を運用するための協定等の検討【H28年度~】							・広域的に資材を運用するための協定等の検討【H28年度~】	・広域的に資材を運用するための協定等の検討【H28年度~】	・広域的に資材を運用するための協定等の検討【H28年度~】
■排水計画の作成及び排水訓練の実施																
32	1)大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	・訓練としては実施済みであるが、大雨により増水し、河川ポンプで排水が必要な箇所は地元消防団も把握しており、遠征にも要請し出動して排水活動をした経験あり。	訓練は未実施	訓練予定はないが、排水必要箇所については消防団と連携して周知を図る	・地区の要望に応じて、予算の範囲内で河川ポンプを配備、排水活動訓練については各地区の判断で実施。【済】	・地区の要望に応じて、予算の範囲内で河川ポンプを配備、排水活動訓練については各地区の判断で実施。【済】	同左	・自然排水が困難な地区との共同排水活動訓練【H28年度~】	未実施	H30年度の防災訓練で独自訓練として検討する。				・消防団等と連携した訓練の実施について検討【H28年度~】	・消防団等と連携した訓練の実施について検討	・消防団等と連携した訓練の実施について検討
33	2)排水ポンプ車の出動要請の連絡体制を整備	連絡体制の整備【引き続き実施】	実施済み	引き続き実施	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	同左	連絡体制の整備【引き続き実施】	防災訓練の中で整備できるよう検討	引き続き実施	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	
34	3)関係機関が連携した排水実働訓練の実施															